

12 生涯学習のまちづくり			
13 生涯学習のまちづくり			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	渡辺 賢治	電話番号	042-481-7541
関係課名 （組織順）	協働推進課, 多様性社会・男女共同参画推進課, スポーツ振興課, 環境政策課, 社会教育課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	生涯にわたり学習し, 学んだことをまちづくりに生かす	
施策の方向	誰もが生涯を通じて, 自由かつ主体的に学習に取り組むことができる環境を充実させるとともに, 一人一人の知識や経験, 学びの成果を生かし, 交流を深めながら, 自分らしく暮らせるまちを目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



**1 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の振り返り — 取組実績（DO）**

**◆ 令和4年度における取組実績の振り返り**

施策の成果向上に向けた主な取組実績 【前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の基本的取組毎に記載】
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）
<p><b>（12-1 学びのきっかけづくり）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習出前講座」では, 市役所編として125講座を設けるとともに, 調布警察署や調布消防署, 武蔵府中税務署等の官公庁をはじめ, 調布市医師会や調布市社会福祉協議会, 電気通信大学等の関係団体に加え, 東京ガスネットワーク等の民間事業者による計23団体の協力の下, 協力団体編を設け, 令和4年度において計121回の講座を申込みいただき実施することができた。</li> <li>・生涯学習サークル体験事業では, 生涯学習の楽しさを知り, 地域との関わりを持つ機会につながるよう様々な分野から23サークルに参加いただき, 延べ89人の市民に参加いただくことができた。また, 市民団体等が, 自由に学習活動に取り組む場である文化会館たづくりの「みんなの広場」を会場とした事業「サークル体験 in みんなの広場」を年間2回実施し, 延べ23人に参加いただいた。</li> <li>・生涯学習情報コーナーと市民活動支援センターが拠点となり, 多様な学びに関する情報提供及び相談事業を通して, 市民の学習活動の支援に取り組む中, サークルガイドブックの発行や生涯学習情報コーナーウェブサイトの運営に加え, 調布FMを活用した定期的な情報提供に努めた。</li> <li>・社会教育情報紙「コラボ」を年3回発行し, 市内小・中学校や社会教育施設に配布するとともに, 市ホームページに掲載するなど, 社会教育に関する様々な事業や情報の周知に努めた。</li> <li>・図書館では, 感染症対策を徹底しながら, 読書会や文芸・文化・時局講演会のほか, 各種講座等により, 多種多様な読書推進に向けた啓発事業を実施した。</li> </ul> <p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びに関する情報提供において, 文化会館たづくりに設置している生涯学習情報コーナーと市民活動支援センターの連携の下, 「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」と「生涯学習情報コーナーウェブサイト」を連動させながら, 継続的に情報発信に取り組んだ。</li> <li>・主に, 定年退職や子育てを終えたシニア世代が, 地域で活動するきっかけづくりとして, 「調布市地域デビュー推進委員会」との協働により, 平成18年度来, 延べ3000人を超える方に様々な地域デビュー事業に参加いただいていた。令和4年度は, 「地域デビュー歓迎会」や「学習会&amp;まち歩き徒歩ツアー」に加え, サークル活動を紹介して参加を促す企画や, 地域でのボランティア活動を促す講演等を開催することができた。</li> <li>・図書館では, 京王線沿線7市（八王子市, 府中市, 町田市, 日野市, 多摩市, 稲城市及び調布市）図書館連携協議会における連携関係を深めながら, それぞれの利用状況を共有し, 改修工事等で休館する際には, 隣接する自治体間で相互利用に関する周知に努め, 図書館利用サービスの充実に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協力者と連携して, 音訳・点訳・宅配・布の絵本製作等, 障害のある方々への図書館利用支援サービスに取り組んだほか, 「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき, おはなし会や小学生読書会の実施に加え, 学校と連携した図書館利用ガイダンスを行うなど, 図書館の利用推進に向けた取組や未来の読書家を育てる取組を実施した。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化会館たづくりに設置する調布市生涯学習情報コーナーでは, 専門のスタッフである調布市生涯学習まちづくり推進員が, 市内で活動する各種サークルや団体に関する情報のほか, 各分野で講師を担うことができる人材に関する情報を活用しながら, 多様な学習活動に応じた相談事業に取り組んだ。</li> <li>・図書館では, 市とFC東京とのパートナーシップの下, 中央図書館4階に「FC東京応援展示コーナー」を常設するとともに, 「FC東京選手の私のすすめるこの一冊」を発行し, スポーツの振興と読書の推進に向けて取り組んだ。</li> </ul>

## (12-2 学べる機会の充実)

- ・相互友好協力協定を締結する7大学等について、各大学等の特色を生かしたそれぞれの魅力や、市との連携事業や各大学等が開催する市民向けの公開講座等について、各種広報媒体を活用し、広く情報発信に努めながら生涯学習の振興に向けて取り組んだ。
- ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、「ちょうふ市民カレッジ」として、美術、陶芸、音楽、映像、古典・伝統など幅広い分野における28講座を実施したほか、調布市国際交流協会では「日本語教室」や「国際理解講座」を開催した。
- ・図書館では、市民の多様な学習ニーズに応えるため、図書や雑誌など新たに約4万4000点を受け入れ、年間で約227万点の貸出しを行ったほか、調布市に関する新聞記事やポスター等の地域資料のデジタル化を推進した。
- ・公民館では、講演会・市民講座・市民文化教室・高齢者教育・国際理解教育・家庭教育・青少年教育・共催・平和などの多様な事業を展開した。

### ①横断的連携による施策の推進

- ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や相互友好協力協定を締結する大学、民間事業者等の多様な主体との連携の下、参加人数の制限やオンライン形式による出前講座の実施など、コロナ禍においても創意工夫を講じながら多様な学習機会を確保することができるよう努めた。

#### ■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」

- ・図書館が、より効果的な学習活動の拠点として機能するよう、多様な資料の収集、整理、提供、保存を行うとともに、音訳、点訳、対面朗読、宅配など、誰もが読書や調査に取り組むことができるよう図書館利用サービスの充実に取り組んだ。

#### ■連携テーマ3「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団が実施する「ちょうふ市民カレッジ」では、東京2020大会を契機とした、調布三曲協会や調布市いけばな連盟等による伝統文化を次世代に継承する「伝統文化親子教室事業」を実施した。

### ②調布のまちの魅力発信

- ・相互友好協力を協定する各大学が有する多様な特色を生かした魅力の紹介や、市民向けに開催する各種公開講座について、市報5日号に定期掲載するとともに、市ホームページ及び「生涯学習情報コーナーウェブサイト」を通じて情報発信に取り組んだ。また、協定締結大学の1つである電気通信大学との共催により、科学について気軽に語る機会として開催している「サイエンスカフェChofu」をオンラインにより開催した。
- ・図書館では、水木しげる氏の作品を積極的に収集・提供し、その人生における戦争体験に基づく平和への想いの普及・啓発に加え、集積する映画関連資料を有効に活用し、「映画のまち調布」の魅力発信に取り組んだ。

## (12-3 学びの活動支援)

- ・専門の相談員を配置する生涯学習情報コーナーでは、サークルガイドブックの発行や生涯学習サークル体験事業の実施などにより、生涯を通じた学習活動につながる支援に努めるとともに、学びに関する各種相談や情報発信を通じて、生涯学習サークル等の活動支援に取り組んだ。
- ・学習活動に取り組む場の1つである「みんなの広場」では、令和4年度の活用実績として、2064団体、9544人が利用したほか、個人の学習利用による150人と合わせ、計9694人が利用した。
- ・社会教育分野では、市民の自主的な活動をサポートする学習グループサポート事業を実施し、7グループの活動を支援することにより、共同学習・相互学習の推進及び学習成果の地域還元を図った。また、小・中学校のPTAが企画運営する「家庭教育セミナー」については、保護者や地域住民の教育力を高めることを目的として、令和4年度は6校のPTAが実施する中、市教育委員会では、講師謝礼の助成や情報提供及び助言に取り組むなど活動支援に努めた。
- ・図書館では、第50回「樟まつり」において、文化・時局・文芸講演会、俳句・短歌大会を開催し、多くの市民に会場いただいた。また、図書館分館の集会室を利用する市民団体による読書会への活動支援に取り組むなど、様々な分野で活動する団体との連携を通じて、読書や文化活動の推進につながる各種事業に取り組んだ。

### ①横断的連携による施策の推進

- ・文化会館づくりをはじめとした文化施設や図書館、公民館などの市内公共施設が相互に連携しながら、市民や活動団体が活動を行うことができる場の確保を図り、「学び」の活動支援に取り組んでいる。

### ②調布のまちの魅力発信

- ・文化会館づくり11階の「みんなの広場」では、市民活動団体等による作品展示の場としても活用されており、令和4年度においては、20団体が展示を行った。

## (12-4 まちづくりへの学びの成果の活用)

- ・調布市地域デビュー推進委員会との協働により実施する各種地域デビュー事業における学習会&徒歩ツアーでは、既に地域での活動する市民を講師に迎え、調布の歴史やまちの魅力向上に向けた講演会を開催した。
- ・「学んだことを役立てる場を提供したい」というサークルと「ボランティアでイベントへ出演いただける方の派遣をお願いしたい」という地域団体等をつなぐため、ボランティアに協力いただけるサークルを1冊にまとめた「生涯学習サークルボランティアメニュー」を発行した。

### ①横断的連携による施策の推進

- ・生涯学習情報コーナーや市民活動支援センター等において、学習で身につけた知識や技能、経験等を、地域でボランティア活動等に生かそうとする人と、地域人材を求め人々や場をつなげるコーディネーター機能を担うことで、学びの活動を支援に取り組んでいる。

#### ■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」

- ・高齢者が健康を維持しながらいきいきと豊かな人生を送ることができるよう地域活動に参加するきっかけづくりや、各種地域デビュー事業の企画・運営について、地域デビュー事業に参加したことがきっかけで加入する調布市地域デビュー推進委員会が担っている。

## ②調布のまちの魅力発信

・市との協働により、各種地域デビュー事業を開催する調布市地域デビュー推進委員会は、各事業の企画・運営等を担っているほか、推進委員会が地域デビューの受け皿としても機能している。

### ◆（参考）令和元年度～令和3年度における施策の成果向上に向けた主な取組実績

・出前講座、生涯学習サークル体験事業などの実施とともに、生涯学習情報コーナーと市民活動支援センターとの連携による情報発信や、社会教育情報誌や図書館だより等を通じた情報提供のほか、市民の多様な学びのきっかけづくりに取り組んだ。

・文化会館たづくりや社会教育施設における市民向けの各種講座のほか、相互友好協力協定を締結する大学による公開講座を開催するとともに、図書館における多様な資料を活用した情報共有はもとより、誰もが読書や調査に取り組むことができるよう、音訳や点訳等の利用支援の充実を図り、学びの機会の充実に取り組んだ。

・市内文化施設や社会教育施設など、身近な学びの場の確保と合わせて、生涯学習団体等の活動拠点である「みんなの広場」において様々な活動団体間の交流を図ったほか、サークルガイドブックの発行や、社会教育分野における学習グループサポート事業を通じた学びの活動支援に取り組んだ。

・生涯学習情報コーナーや市民活動支援センター等における各種情報共有や相談等を通じて、学んだ知識や経験をボランティア活動等に生かせる機会の確保や、地域で求められる専門人材や活動の場の確保に向けたコーディネート機能を担うなど、学びの成果をまちづくりに生かせるよう活動支援に取り組んだ。

・図書館では、第3次子ども読書活動推進計画に基づき、若年層から読書に関心を持ってもらうため、特に乳幼児や小学生向けのおはなし会や小学校向けの図書館ガイダンス等に取り組み、図書館登録者数は過去5年間で最多となる約9万人余（令和3年度末時点）となった。

施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）の視点に基づく主な取組実績

・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団や相互友好協力協定を締結する大学、民間事業者等の多様な主体との連携の下、参加人数の制限やオンライン形式による出前講座の実施など、コロナ禍においても創意工夫を講じながら多様な学習機会の確保に努めた。

・相互友好協力を協定する各大学が有する多様な特色を生かした魅力の紹介や、市民向けに開催する各種公開講座について、市報に定期掲載するとともに、市ホームページ及び「生涯学習情報コーナーウェブサイト」を通じた情報発信に取り組んだ。

・図書館では、水木しげる氏の作品を積極的に収集・提供し、その人生における戦争体験に基づく平和への想いの普及・啓発に加え、集積する映画関連資料を有効に活用し、「映画のまち調布」の魅力発信に取り組んだ。

### ◆まちづくり指標の現状把握

まちづくり指標	単位	実績値				目標値	指標の推移※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
1 1年間に生涯学習をした人の割合	%	40.0	24.3	28.4	28.1	40.0	⇒
2 社会教育施設の満足度 (上段：図書館、下段：公民館)	%	77.9	80.4	79.6	80.7	75.0	◎
	%	74.8	75.4	74.3	74.4	50.0	
3 生涯学習情報コーナーのアクセス数	件	6万295	3万9,848	6万939	6万8421	9万	○
4 学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	%	20.6	13.4	14.4	13.8	25.0	⇒

※令和4年度における指標の推移は、以下の区分により記号を記入

◎：目標値を達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ）  
－：数値未把握（調査未実施など）

### ◆指標でみる後期基本計画期間内（令和元年度～令和4年度）の達成状況

各指標の達成状況及び説明	
No.	指標名
説明（目標達成・未達成の要因、課題、今後の取組の方向等）	
1	1年間に生涯学習をした人の割合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、後期基本計画期間内における学習活動・学びの機会が制限を受けたことが実績値に反映したものと捉えている。</li> <li>・次年度以降の新たな計画期間においては、コロナ禍で取り組んだオンラインによる講座の実施など、デジタル技術の活用や、附属機関からの答申を踏まえた計画に基づき、幅広い年代を対象とした生涯学習の振興に向けて取り組む。</li> </ul>	
2	社会教育施設の満足度（上段：図書館、下段：公民館）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館は、コロナ禍においても、乳幼児から成人まで幅広い世代に向けた多様な資料・サービスを提供したほか、図書館利用における障害のある方への支援など、市民の読書活動を広く支援したことにより、計画期間における「市民の満足度」で目標値を上回ることができた。</li> </ul>	

3 生涯学習情報コーナーのアクセス数	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報コーナーの運営については、感染症の影響に伴う生涯学習に関する各種相談や生涯学習サークル等の活動制限によるアクセス数の減少を受けた。</li> <li>今後は、地域での各種イベント等との連携を図り、積極的にアウトリーチに取り組むとともに、調布FMや市公式SNS等を活用し、より広く市民への周知を図ることができるよう創意工夫を重ねながら効果的な情報発信に取り組む。</li> </ul>
4 学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、学習の機会や活動が制限されたため、目標値の達成には至っていないが、計画期間全体では概ね横ばいで推移しており、現状を踏まえ、課題を整理しながら施策全体を効果的に推進することができるよう取り組む。</li> </ul>

《参考》前期基本計画（令和5年度～令和8年度）における「まちづくり指標」

まちづくり指標	まちづくり指標の考え方	単位	基準値	目標値
1年間に生涯学習をした人の割合	市民団体、大学、民間事業者等との連携により、多様な学習のきっかけづくりを推進し、市民の40パーセントが生涯学習に年1回以上取り組むことを目標とした。	%	37.5 令和4年度	40.0 令和8(2026)年度
社会教育施設の満足度	市民に身近な生涯学習の場である公民館や図書館の満足度を向上させ、学べる機会の充実を図ることを目標とした。	%	(図書館) 80.7 (公民館) 74.4 令和4年度	(図書館) 85.0 (公民館) 80.0 令和8(2026)年度
生涯学習情報コーナーの相談件数	生涯学習情報コーナー（アウトリーチ含む）の相談件数を現状から増加させ、より多くの市民が学びのきっかけを持つための機会創出を図ることを目標とした。	件	779 令和3年度	850 令和8(2026)年度
学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	学習の成果を生かす機会の提供に取り組み、市民の地域活動、学習を通じた交流や仲間づくりを促進することを目標とした。	%	13.8 令和4年度	25.0 令和8(2026)年度

2 令和4年度の振り返り及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の取組状況 — 評価（CHECK）

◆ 施策の成果向上に向けて、令和4年度及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に実施した取組に対する評価

総合評価 (令和4年度)	A	<p>S：「実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」</p> <p>A：「実施した取組において予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」</p> <p>D：「実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
総合評価理由	<p>令和4年度における施策の成果についての総括（総合評価の理由）</p> <p>令和4年度は、国及び東京都の動向や生涯学習を取り巻く生涯学習に関する潮流を踏まえ、条例により設置する生涯学習推進協議会からの答申（令和5年2月）に基づき、市は、基本計画の施策の体系を整理し、今後の生涯学習の振興に向けた検討を進めるとともに、市教育委員会では、社会教育委員の会議における議論を踏まえ、社会教育計画を策定した。</p> <p>また、相互友好協力協定を締結する大学が、市民向けに開催する各種公開講座（電気通信大学との共催による「サイエンスカフェChofu」）や、（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が多分野を対象に開催する「ちょうふ市民カレッジ」に加え、公民館や図書館、郷土博物館が開催する各種講座や市内の歴史・文化資源を活用した学びの支援など、市民向けの講座をオンラインにより開催するなど、コロナ禍にあっても創意工夫を講じながら各種事業を実施し、市民による学習活動を支援することができた。</p> <p>さらに、専門の相談員を配置する生涯学習情報コーナーでは、多様な学びに関する情報提供及び相談事業を通して、市民の学習活動の支援に取り組む中で、サークルガイドブックの発行や生涯学習情報コーナーウェブサイトの運営のほか、調布FMを活用した定期的な情報発信に努めた。</p> <p>加えて、図書館では、乳幼児から成人まで各世代に向けたガイダンスや各種講座、講演会、読書会等により、学習機会の充実や読書の推進に取り組んだ。また、新たに多分野にわたる図書や雑誌、地域資料などを調達するとともに、国立・都立図書館や京王線沿線自治体等との連携による相互貸借を行ったほか、誰もが読書や調査に取り組むことができるよう昔訳や点訳等のサービスの充実に努めた。</p>	

<p>総括評価 (令和元年度から令和4年度)</p>	<p>A</p>	<p>S:「計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」                  A:「計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。」                  B:「計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」                  C:「計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。」                  D:「計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
<p>総括評価理由</p>	<p>後期基本計画（令和元年度～令和4年度）における施策の成果についての総括（総括評価の理由）／今後に向けた課題・懸案事項</p> <p>（総括）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市生涯学習推進協議会からの答申（令和5年2月）に基づき、基本計画の施策の体系を整理し、今後の生涯学習の振興に向けた検討を進めるとともに、市教育委員会では、社会教育委員の会議における議論を踏まえ、社会教育計画を策定した。</li> <li>・相互友好協力協定を締結する大学が、市民向けに開催する各種公開講座や、（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が、多分野を対象に開催する「ちょうふ市民カレッジ」に加え、調布市国際交流協会による「日本語教室」や「国際理解講座」や、公民館や図書館、郷土博物館が開催する各種講座や市内の歴史・文化資源を活用した学びの支援など、市民向けの講座をオンラインにより開催するなど、コロナ禍にあっても創意工夫を講じながら各種事業を実施し、市民による学習活動を支援することができた。</li> <li>・専門の相談員を配置する生涯学習情報コーナーでは、多様な学びに関する情報提供及び相談事業を通して、市民の学習活動の支援に取り組む中、サークルガイドブックの発行や生涯学習情報コーナーウェブサイトの運営のほか、調布FMや市公式SNS等を活用し、より広く市民への周知を図ることができるよう創意工夫を重ねながら効果的な情報発信に取り組んだ。</li> <li>・図書館では、乳幼児から成人まで各世代に向けた各種取組により、学習機会の充実や読書の推進に取り組んだ。また、国立・都立図書館や京王線沿線自治体等との連携による相互連携に取り組むとともに、誰もが読書や調査に取り組むことができるよう音訳や点訳等のサービスの充実にも努めた。</li> </ul> <p>（課題・懸案事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“人生100年時代”を見据え、幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む必要がある。</li> <li>・生涯学習を取り巻く社会潮流や、国及び東京都の動向などを踏まえ、様々な特色を有する相互友好協力協定を締結する大学や、包括協定を締結する事業者のほか、「ちょうふ市民カレッジ」をはじめとする各種生涯学習の機会を提供する調布市文化・コミュニティ振興財団など、市の強みである多様な主体と連携を図りながら学ぶことができる環境づくりや、学んだ成果をまちづくりに生かすことができるよう取り組む必要がある。</li> <li>・様々な分野における専門的知見をもった方々に加え、公募市民を含めて構成する調布市生涯学習推進協議会において、広く市民ニーズの把握に努めながら、現状と課題の整理を踏まえ、今後の生涯学習の振興に取り組む必要がある。</li> </ul>	

### 3 中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

#### ◆施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

全国的な潮流・傾向等	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
	<p>①“人生100年時代”を見据えた生涯学習の振興を図るため、幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む必要がある。</p> <p>②教育基本法に規定された生涯学習の目的及び理念に基づき、国が設置する中央教育審議会では、生涯学習の役割について、一人一人がより豊かな人生を送ることができるよう、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本とし、生涯を通じて行うものであり、個人の人生を支え、自己実現を図るうえで重要なものであると示されている。</p>	<p>①②③生涯学習を取り巻く国及び東京都の動向や社会潮流を踏まえ、市は、条例により設置した調布市生涯学習推進協議会からの答申（令和5年2月）に基づき、生涯学習の振興に取り組む必要がある。</p> <p>その中で、多様な特色を持つ、市内・近隣の大学等と相互友好協力協定を締結し、文化、教育、学術、スポーツなどの分野で連携した取組を進めている。今後も、こうした各大学の特色を生かした市民を対象とする事業を紹介しながら、各大学の魅力を広く発信するとともに、市民の生涯学習のきっかけづくりにもつながるよう、連携した取組を進めていく必要がある。</p> <p>また、調布市文化・コミュニティ振興財団は、生涯学習の活動拠点でもある文化会館たづくりの施設運営を行うとともに、「ちょうふ市民カレッジ」をはじめとする各種生涯学習の機会を提供しており、こうした関係団体との効果的な連携を図ることで、更なる生涯学習の振興につながることを期待される。</p> <p>さらに、専門の相談員を配置する生涯学習情報コーナーでは、生涯学習に関する相談や情報発信のほか、生涯学習サークル等の活動支援を行っている。今後も、生涯学習情報コーナーの取組について、地域での</p>

東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都は、生涯学習の振興に係る施策の推進体制の整備に関する法律に基づき設置した東京都生涯学習審議会において、施策の総合的な推進に向けて調査・審議に取り組んでいる。</p> <p>④生涯学習と社会教育に関する国の動向を踏まえ、多摩地域26市のうち、23市では所管部署の統合が図られており、生涯学習と社会教育の個別計画を個々に策定しているのは1市のみとなっている。</p>	<p>各種イベント等との連携を図り、積極的にアウトリーチに取り組むとともに、調布FMやSNS等を活用しながら、幅広い年代に向けた効果的な情報発信に向けて創意工夫を重ね、より広く市民への周知が図られるよう取り組んでいく必要がある。</p>
その他		

◆前期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）における中長期的な取組の方向

<ul style="list-style-type: none"> <li>・“人生100年時代”を見据えた生涯学習の振興を図るため、幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む</li> <li>・多様な特色を持つ相互友好協力協定を締結する大学等と文化、教育、学術、スポーツなどの分野で連携した取組等、今後も、各大学の特色を生かした市民向けの公開講座等を推進するとともに、「ちょうふ市民カレッジ」をはじめとする生涯学習の活動拠点でもある文化会館たづくりの施設運営を行う調布市文化・コミュニティ振興財団と連携し、更なる生涯学習の振興に取り組む。</li> <li>・令和4年度に策定した調布市社会教育計画に基づき、より多くの市民が参画できる社会教育の環境を整備する。</li> <li>・身近な生涯学習の場である図書館では、読書や交流の場に加え、地域の情報拠点としての機能を充実する。</li> <li>・地域住民の学習活動を通じた交流の場である公民館では、共同学習や相互学習の活性化に向けて、登録団体・利用団体の育成及び支援に取り組む。</li> </ul>	
施策の推進、成果向上の視点を踏まえた具体的な取組	
デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSや市庁舎のデジタルサイネージなどのデジタル技術を活用することで、広く市民と生涯学習に関する情報を共有し、学びの機会の充実につなげることができるよう効果的な情報発信について検討する。</li> <li>・生涯学習情報コーナーのホームページや積極的なアウトリーチにより、生涯学習に取り組む市民が、出前講座等の利用や多様なサークル活動等の地域活動に参加することができる環境づくりに取り組む。</li> </ul>
共創のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の活動拠点でもある施設運営を担う調布市文化・コミュニティ振興財団や特色を生かした市民向け公開講座を開催する相互友好協力協定の締結大学等の多様な主体との連携により、多彩な生涯学習に取り組む機会を創出する。</li> </ul>
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会実現の重要性やそのための取組を広く市民に周知し、市民一人一人が脱炭素社会の実現について考え、行動できるよう、出前講座などによる環境学習の機会の充実を図る。</li> </ul>
フェーズフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等を通じて、フェーズフリーに関する学びの機会の充実を図る。</li> </ul>

## 施策12「生涯学習のまちづくり」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	46	重点P	—			
	事務事業	学習活動及びまちづくりへの参加の促進				総合戦略	●
後期※	計画コード	43	重点P	—			
	事務事業	学習活動及びまちづくりへの参加の促進				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 文化生涯学習課 文化生涯学習係							
<b>事業概要</b> 市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえよう、生涯学習に関する情報提供・相談体制の充実を図るとともに、市民団体、大学、民間事業者等との協働により、主体的な生涯学習活動への参加のきっかけづくりを行う。 人生100年時代を見据えた幅広い年代や多様な分野における学びのきっかけづくりや生涯を通じた学びへの支援等により、市民一人一人がそれぞれの興味関心や、生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことができるよう取り組む。							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

### 【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	○主にシニア世代の市民を対象に生涯学習活動や地域活動に参加するきっかけをつくる ○サークルの団体活動を活性化する	○各種地域デビュー事業 ○生涯学習サークル体験事業	○各種地域デビュー事業 ○生涯学習サークル体験事業	○各種地域デビュー事業 ○生涯学習サークル体験事業
		事業費（千円） 500	400	400
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績



計画どおり



計画遅れ



計画前倒し

実績評価



説明

調布市生涯学習推進協議会を開催する中で、市の今後の生涯学習の推進に向けた取組の方向について、当協議会へ諮問し、生涯学習の振興に向けた基本的な考えとして答申が提出された。  
 地域デビュー事業では、地域デビュー推進委員会と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「地域デビュー歓迎会」や「調布再発見ツアー」等を実施した。  
 また、生涯学習に関する情報については、ホームページの他、LINE等のSNSを活用するとともに、地域メディアを活用しながら、情報発信に取り組んだ。  
 サークルの活動支援においては、生涯学習コーナーにおける相談支援のほか、サークル団体との連携により、生涯学習サークル体験事業「サークル体験inみんなの広場」を全2回実施し、参加者へサークル入会に向けたきっかけを提供することができた（参加者数：延べ12人）。

### 【ACTION】

今後の方向



現状継続



有効性改善



効率性改善



財政面改善



市民参加と協働の取組改善

今後の取組の方向

調布市生涯学習推進協議会からの答申（令和5年2月）及び今後の協議会における議論に基づき、各種事業のあり方について検討を進めていく。  
 生涯学習まちづくり推進員と連携した生涯学習情報コーナーでの情報提供・相談事業については、各種相談への対応や各種媒体の活用に加え、アウトリーチによる情報発信など、情報共有の充実に取り組む。  
 市民との協働により実施してきた地域デビュー事業の実績を踏まえ、産官学による多様な主体と連携をしながら、より幅広い年代の市民が生涯学習に取り組むことができる仕組みづくりを検討する。  
 あわせて、学んだ成果をまちづくりに生かすことができる機会や場の充実に向けて取り組んでいく。

施策12「生涯学習のまちづくり」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	47	重点P	—			
	事務事業	市民の読書・調査活動への支援				総合戦略	●
後期※	計画コード	44	重点P	—			
	事務事業	市民の読書・調査活動への支援				総合戦略	●
所管部署 教育部 図書館 資料係・図書館サービス係・調査支援係・利用支援係・児童サービス係・地域サービス係							
<b>事業概要</b> 市民の生涯学習・文化・生活を支えるインフラとして、暮らしに役立つ魅力ある図書館を目指してサービスを実施し充実させる。また、市民に身近な機関として機能するよう、人材育成に努める。一般書・児童書・地域資料・映画資料・電子資料・雑誌・新聞等、各世代に求められる資料・情報を選定・収集・整理・提供・保存する。貴重な地域資料等を活用するためにデジタル化を行う。市民からの多様な資料要求に応えるため、資料目録データを整備し、貸出・検索・予約等に係るシステムの利便性を高める。蔵書の新鮮さを保つため、年数を経た資料は修理・製本・除籍を行い、資料的価値を考慮して保存庫等で所蔵する。音訳、点訳、宅配等により、誰もが生涯学習に取り組めるようにする。老朽化した施設の改修等を計画的に進めていく。							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存 ○資料目録データの整備 ○保存スペースの確保 ○電算システムの更新及び効率化の検討 ○職員・会計年度任用職員の能力の向上 ○マルチメディアDAISY図書作成 ○地域資料等貴重な資料のデジタル化	○資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存 ○資料目録データの整備 ○次期電算システムの更新  ○電子書籍の導入検討 ○職員・会計年度任用職員の能力向上のための研修 ○ブックスタート事業の実施  ○マルチメディアDAISY図書作成 ○地域資料等のデジタル化	○資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存 ○資料目録データの整備 ○次期電算システムの更新  ○電子書籍の導入検討 ○職員・会計年度任用職員の能力向上のための研修 ○ブックスタート事業の実施 ○利用支援用資料の作成  ○地域資料等のデジタル化	○資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存 ○資料目録データの整備 ○次期電算システムの更新に向けての検討 ○電子書籍の導入検討 ○職員・会計年度任用職員の能力向上のための研修 ○ブックスタート事業の実施  ○マルチメディアDAISY図書作成 ○地域資料等のデジタル化	
事業費（千円）		339,802	375,127	359,473
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	○
-----------	---	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	市民に身近な施設として、中央図書館と10の分館を運営し、市民の多様な学習ニーズに応えるため、約4万4000点の図書・雑誌・視聴覚資料を新たに受け入れつつ、年間延べ約227万点の貸出しを行った。また、多様な資料要求に的確に応えるため、各種データを整備し、利便性の向上を図った。緊急事態宣言等の間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部休止を行った。なお開館に際しては、利用者の安心・安全を考慮し、カウンターへ防護幕を設置したほか、設備や資料の消毒を実施する等、感染防止対策を行った。 染地分館は設備改修工事のため、令和4年8月1日から令和5年3月31日まで臨時休館した。臨時休館に伴い、9月24日から12月25日までの毎週土・日曜日に多摩川自然情報館図書館臨時窓口を開設した。職員の人材育成を図るため、定期的な職場内研修を実施するほか、オンラインを活用した外部研修にも参加した。電子書籍の導入検討のため、電子図書館サービスの調査を行った。1歳6か月児健診でブックスタートパックを1670部配付し、乳幼児がいる家庭での読み聞かせを推進した。新たに作成したマルチメディアDAISY図書を16点受け入れた。 ※「マルチメディアDAISY図書」とは、文字情報を理解することが難しい方をサポートする電子図書。
----	---

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
今後の取組の方向	今後も市民の生涯学習・文化活動・日常生活に欠かせないインフラとして、市民に身近な図書館づくりに努めつつ、生活を支え、暮らしに役立つ魅力的な図書館であり続けるために、各種図書館サービスを実施し充実させる。感染症対策を行いながら、非来館型のサービスについても検討していく。 市民からの多様化する資料要求に的確に応えるため、図書・雑誌・地域資料・行政資料・映画資料・電子資料・視聴覚資料などの資料を収集・整理・提供・保存するほか、図書館相互貸借制度などを通して、国・都道府県・市区町村立及び大学図書館と緊密に連携し、市民への資料提供を行う。 高架下資料保存庫の除却に伴い、20万冊の資料保管場所の確保について庁内関連部署と協議を行い、貴重な市民の共有財産を適切に保存・提供できるようにしていく。 利用者のニーズに応えられるよう創意工夫を凝らし、魅力ある図書館を目指す。 老朽化した施設の改修等を計画的に進めていく。